☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　2017

神戸新聞　平成２９年７月２２日（土）

ライフルで全国大会へ

氷上西高 芦田さん

28日から広島市で開かれる「全国高校ライフル射撃競技選手権大会」に、氷上西高校（丹波市青垣町佐治）のライフル射撃部３年、芦田太一さん(17)が出場する。同部では史上２人目の全国挑戦で、初の８位以内入賞を目指す。芦田さんは「チームメイトや先生の期待を力にして、学校の歴史を塗り替えたい」と活躍を誓う。

（大田将之）

出場する種目はビーム・ライフル立射60発競技。10㍍先にある的に、光線銃で60発を撃ち込み合計点数を競う。

5月に明石市であった県予選で芦田さんは4位と、全国に出場できる3位以内に惜しくも届かなかった。「僕の夏は終わった」と燃え尽きていたところ、辞退者が出て繰り上げ出場が決定。思わぬ吉報に「冗談じゃないですよね？」と何度も聞き返したという。

高校入学後、先輩に誘われて何げなく入部を決めた芦田さん。「あの頃はこんな大舞台に立てるとは思わなかった」と控えめに振り返るが、静かに努力を重ねた。初めて近畿大会に勝ち進んだ2年生のとき、強豪校の選手との実力差を痛感。重さ約4㌔の銃を使いこなせる体をつくろうと、毎日の走り込みや体幹トレーニングに励み、強豪校との合同練習で勝負勘を磨いた。

28日から広島 平常心で８位入賞目指す

全国では予選の上位8人で決勝を行う。問われるのは、ぶれずに的を射抜き続ける精神力。芦田さんは「あがり症ですぐ動揺してしまうので、平常心を保ちたい。落ち着いて臨めば結果は付いてくる」と意気込んでいる。

的にライフルの照準を合わせる芦田太一さん＝氷上西高校